



古文書『芭蕉翁終焉期』に見る

# 木曾義仲と松尾芭蕉

日時：2018年9月8日（土）

午後2時から3時30分

◆講師：元一宮市立北方中学校校長 田中 豊先生

◆場所：一宮駅 i-ビル3階 市民活動支援センター内会議室

◆会費：500円 ◆予約不要

滋賀県大津市にある義仲寺には、木曾義仲の墓所とともに、松尾芭蕉の墓も建てられています。生前、松尾芭蕉はたびたびこの義仲寺を訪れ、滞在していました。

「義仲の寝覚めの山か月悲し」など、義仲にまつわる句も詠んでいます。

そして芭蕉が大阪で亡くなった際、「骸は木曾塚に送るべし」という芭蕉の遺言にしたがい、門人たちは遺骸を義仲寺まで運び、義仲公の墓の横に並べて埋葬しました。

今回は古文書榎本其角著『芭蕉翁終焉期』をもとに、松尾芭蕉の源(木曾)義仲に対する思いについて、田中豊先生があれこれとお話をします。

**講師 田中 豊 先生 プロフィール**

昭和36年 愛知教育大学 数学科卒業 平成5年 一宮市立北方中学校校長  
平成14年 ICC ケーブルテレビ「ディリーショット」で一宮市などの文化・歴史の紹介  
平成17年 「歴史伝承フォーラム」代表  
平成21年 いちい信用金庫発行「西尾張地方戦国マップ」監修  
東京大学史料編纂所蔵資料や真清探当証などの古文書の発掘、解読多数

◆お問合せ・お申込み いちのみや大学事務局へ以下のいずれかの方法でお申込みください

①ホームページから <https://ichinomiyaigaiku.com/>②メール [info@ichinomiyaigaiku.com](mailto:info@ichinomiyaigaiku.com)

③電話: 080-4227-8641(平日 10:00~17:00) / FAX:0586-72-5445

(参加者多数の場合、椅子だけのお席になる場合もあることを予めご了承ください。)

いちのみや大学

検索

**市民活動支援センター(i-ビル)の駐車場・駐輪場の利用について**

自動車でお越しの方は、駅東側正面の信号から降車場に入り、i-ビルに向かって右側に入りのある駐車場に停めてください。地上、立体どちらでも大丈夫です。

自転車の方は、i-ビル1階左側、交番横にある駐輪場をご利用ください。

自動車・自転車ともに、センター利用者は最大2時間まで無料となります。

いずれも講座後に、市民活動支援センターのカウンターにて駐車券をご提示の上、サービス券をもらってください。i-ビル以外の駐車場(市営地下駐車場など)は、助成対象となりません。ご注意ください。

## ◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、一宮周辺で様々な分野の知識を持つ人に講師をお願いし、一宮の地域資源を生かし、一宮の街の様々な場所を教室に、ともに豊かに学んでいこうという生涯学習の市民活動です。

### ◆これからの講座の予定は？

月日	場所	内容	講師
8月4日 (土) 13:30～	人の森ハウス (一宮市北園 通3-20)	ハチミツとミツバチの話 受講料 1,500円(材料代含む) (要予約 定員12名ほど)	マルハチ・プロジェクト 小島 園子先生
9月15日 (土) 12:00～	人の森ハウス (一宮市北園 通3-20)	お米の話 受講料 2,000円(ランチ付き) (要予約 定員12名ほど)	Organic rice store CASA 上條 嘉久先生

これまでに開催した講座： デジカメ講座、シャンソン、アフリカの音楽、ジャズピアノ、ヴァイオリンについて、古典落語、アートについて、洞窟探検の魅力、ネパール料理、韓国料理、日本茶、おから味噌、うすずみ桜と真清田神社のなぞ、織田信長のこと、美濃路・起宿について、円空仏、尾張の郷土料理、船橋楽器資料館、プラネタリウム、葛利毛織、妙興寺、尾西繊維協会ビル等の見学など

## 人の森は自費出版のお手伝いをします



人の森出版事業部では、自費出版で本を出したい方をサポートする業務を行っています。

左は、人の森出版事業部で自費出版された本の一例です。

日本百名山全山登頂を果たした著者が書き下ろした文学の香りあふれる山岳紀行文で、北は利尻岳から、南は開聞岳までの全80山を収録しています。

装丁は、人の森出版事業部。ハードカバーで、表紙画及び文中のイラストは、一宮市在住のアーティストの手によるものです。

ご相談は無料ですので、お気軽にお問合せください。

有限会社人の森

〒491-0854 一宮市北園通3丁目20番地

tel&fax: 0586-72-5445

mail: info@hitonomori.com